

NEWS RELEASE (令和3年10月1日) **取材依頼**

心血管病低侵襲治療センターを設置

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

この度、心血管病低侵襲治療センターの設置に伴い、下記のとおり記者発表を開催しますので、ご案内いたします。

なお、記者発表にご出席いただく場合は、お手数ですが、10月6日(水)17時までに、鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係 まで、お申し込みをお願い致します。

【目的】

“怖い”“長期入院”“大きな傷跡”といったネガティブイメージを多くもつ循環器疾患治療に対して、最先端医療技術を用いて“低侵襲”“短期入院”“早い社会復帰”を目指した心血管病低侵襲治療センターを開設しました。

鹿児島県では唯一の実施施設となる MitraClip®や Amplatzer™ Occluder を含めた現在施行しうるすべてのカテーテル治療や、胸骨切開を伴わない低侵襲心臓手術(MICS)を集約的に行う治療センターであり、鹿児島県民の健康回復・維持のために、多職種によりカンファレンスで最適な医療を提供することを目的としています。

本院では、今後、循環器疾患に対する低侵襲治療に力を入れてまいります。

【経緯等】

カテーテル治療の技術的進歩に伴い、冠動脈疾患や大動脈瘤といった血管疾患だけでなく、大動脈弁狭窄症や僧帽弁閉鎖不全症といった弁膜症や心房中隔欠損や卵円孔開存といったシャント疾患までもがカテーテルで治療できる時代となりました。しかしながら、鹿児島には前記治療ができる施設がなく、適応患者さんは県外で治療を受ける必要があり、様々な理由により断念される例も数多く経験しました。2013 年以來、一つ一つ基準をクリアして、現在施行しうるすべてのカテーテル治療の施設基準を取得しました。また血管内治療も技術的な修練を行い、複雑病変に対する Rotablator 使用や EVT など、他院からのご紹介も多くいただくようになりました。2021 年 4 月より、国内屈指のハイボリュームセンターである小倉記念病院心臓血管外科部長で、MICS を数多く手掛けてこられた曾我欣治教授が鹿児島大学病院心臓血管外科に赴任されました。また、小児科も小児に対するカテーテル治療の修練を積まれていました。心血管病に対する低侵襲治療の体制が整ったと同時に、放射線科や手術室、看護部や放射線部、麻酔科や ME といった低侵襲治療に関わる全ての皆様の賛同が得られて、心血管病低侵襲治療センターの開設に至りました。

記

【記者発表】

1. 日時 : 令和3年10月7日(木) 11:00 ~
2. 場所 : 鹿児島大学病院 第一会議室(管理棟4階)
3. 出席予定者: 鹿児島大学病院 病院長 坂本 泰二(さかもと たいじ) 教授
同 心血管病低侵襲治療センター長
心臓血管内科 部門科長 大石 充(おおいし みつる) 教授
同 心血管病低侵襲治療副センター長
心臓血管外科 部門科長 曾我 欣治(そが よしはる) 教授
同 副病院長(経営分析・広報担当)
宇都 由美子(うと ゆみこ) 教授 ★司会になります。

- ◆ 取材の際は、医療機関内という環境を考慮いただき、新型コロナウイルス感染症対策のため、**手指衛生、不織布マスク着用、体温の確認(37.5℃未満)を厳守**願います。

【問い合わせ先】

- (診療内容に関すること) 大石 充 教授、神田 大輔(かんだ だいすけ) 診療講師
心臓血管内科 医局
TEL:099-275-5318
- (報道・広報に関すること) 鹿児島大学病院 総務課 企画・広報係
TEL:099-275-6710